

願、趣認許ス

明治十九年十一月三日

二月廿四日

辞令及奏薦書并、委任状鈐印ノ制ヲ定ム

勅令第一号公文式節録全文ハ文書門公文書式ニ載ス

第十四條 國璽御璽ハ内大臣之ヲ尚藏ス

國璽 御璽ハ親署ノ後内大臣之ヲ鈐ス

第十五條 國書條約批准外國派遣官吏委任状在

留各國領事證認状及三等以上勲章ノ勲

記ハ親署ノ後國璽ヲ鈐ス

第十七條 勅任官ノ任命ハ其辞令書、御璽ヲ鈐

シ奏任官ノ任命ハ其奏薦書、御璽ヲ鈐ス

閭

御璽

任一等驛通官

明治
元年

通信大書記官從五位勲五等林董

任檢事

三等警視正七位勳五等岩重巖

檢事 岩重巖

七等官相當年俸千貳百四下賜

從五位男爵松崎萬長

建築局事務官被仰付

右謹奏

明治十九年二月廿六日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文 花押

用紙鳥ノ子十行書

明治十九年二月廿六日 内閣書記官 印

内閣總理大臣 印 内閣書記官長 印

逕信大書記官林董一等驛通官、轉任ノ件

官記按

逕信大書記官從位勳五等林董

任一等驛通官

公文類聚

通信大書記官林董

右一子尉通官：補任及此處謹之上奏之

明治十九年二月廿五日

通信大臣榎本武揚印

公文類聚

明治十九年

聞

依頼免本官

右謹テ奏ス

明治十九年三月一日

非職三等警視和田熙載

内閣總理大臣伯爵伊藤博文 花押